



平成 26 年 9 月 29 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 シ ー マ
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 白 石 幸 生
 (J A S D A Q ・ コード 7 6 3 8)
 問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 松 橋 英 一
 電 話 0 3 - 3 5 6 7 - 8 0 9 8

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、7月28日に実施しました株式会社ニューアート・ラ・パルレの連結グループ会社化、および最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月15日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-----------------------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 3,208 | 百万円 △110 | 百万円 △117 | 百万円 △134 | 円 銭 △0.73 |
| 今回修正予想(B) | 3,465 | △306 | △309 | △195 | △0.97 |
| 増減額(B-A) | 257 | △196 | △192 | △61 | — |
| 増減率(%) | 8.0 | — | — | — | — |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期) | 3,760 | △435 | △442 | △517 | △2.82 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

(2) 平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|--------------|------------|------------|------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 6,896 | 百万円 171 | 百万円 157 | 百万円 123 | 円 銭 0.67 |
| 今回修正予想(B) | 8,309 | 171 | 157 | 123 | 0.67 |
| 増減額(B-A) | 1,413 | 0 | 0 | 0 | — |
| 増減率(%) | 20.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | — |
| (ご参考)前期実績 (平成26年3月期) | 7,692 | △679 | △706 | △1,210 | △6.54 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

(参考) 平成 27 年 3 月期通期個別予想と前期実績との差異 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|------------|--------------|-------------|-------------|---------------|-----------------|
| 前期実績 (A) | 百万円 7,689 | 百万円 △678 | 百万円 △731 | 百万円 △1,235 | 円 銭 △6.67 |
| 今回発表予想 (B) | 6,673 | 171 | 157 | 123 | 0.67 |
| 増減額 (B-A) | △1,016 | 849 | 888 | 1,358 | — |
| 増減率 (%) | △13.2 | — | — | — | — |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

なお、売上高はブライダル事業としての個別予想の数字となります。利益予想につきましては当初の計画のままです。

2. 修正の理由

平成 26 年 7 月 28 日に、エステ事業を運営する株式会社ニューアート・ラ・パルレの全株式を取得し、同社は、当社連結グループ会社となりました。これにより、当第 2 四半期より同社の売上および利益が連結業績に加算されます。当第 2 四半期におきましては、加算される期間が、短期間のため連結業績において、大きな影響はありませんが、同社においては、売上、利益ともに計画どおりの推移をたどっており、連結業績において売上が加算されます。また、当社本体のブライダル事業におきましては、コスト削減効果により販管費は、計画どおりの進捗状況ですが、消費税増税前の駆け込み需要の反動により、当第 1 四半期におきましては想定以上の受注の減少がありました。そのため、当第 2 四半期（累計）連結業績において、利益が当初予想を下回る可能性が高い状況となりました。

通期連結業績については、当社本体のブライダルジュエリーの販売が秋から年末において活発になり、売上向上が見込めるため、上半期の売上減をある程度カバーすることが期待されます。加えて、エステ事業の売上が加算されますので、売上予想については、増加分を加えた金額に修正いたします。利益予想については、エステ事業の利益が加算される予定ですが、当社グループ全体として現時点では不確定な部分も多く、当初の計画のままで変更しないこととし、変更の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

<ブライダル事業>

ブライダルジュエリーの売上については、最近になり、ようやく市場の回復傾向も見えてまいりましたが、大きく改善するためにはもう少し時間を要するものと考えております。

今後は、これまでの営業体制の強化を確実に進め、秋から年末の需要期に向けて様々なフェア・キャンペーンの実施、集客戦略の強化、商品開発による新製品の市場投入を進め、売上高の回復を図ってまいります。これらの対策によって、下半期につきましては当初の予定以上に推移することが可能と考えております。

また、コスト削減施策については、店舗や本社部門の移転および統廃合による削減効果が下半期において本格的に現れてまいります。今後も引き続き売上の向上とコストの削減により、業績向上を進めてまいります。

<エステ事業>

エステ事業につきましては、過去において、経営基盤が安定しない中で、サロンの必要人員数の不足もあり、厳しい運営を余儀なくされておりましたが、前期において、不採算事業からの撤退、不採算店舗の閉店などを実施することで収益性を向上させると同時に、集客の改善などにより、営業利益がプラスに転じてまいりました。経営状態が安定化していく中で、株式会社ニューアート・ラ・パルレが、平成 26 年 7 月 28 日に当社連結グループとなって以降の業績は 8 月においては月間で黒字となり、9 月以降においても同様の推移が見込まれております。同社は、今秋新たに錦糸町店をオープンする予定で、立川店、京都店、横浜店の移転も控えており、店舗の利便性が向上し、お客様へのサービスアップが実現されます。これらにより売上の増加が見込まれます。株式会社ニューアート・ラ・パルレの事業は、エステ施術によるビジネスモデルであります。長年の歴史に裏打ちされた非常に優良な化粧品を始めとする美容器具などの商品を取り扱っていることから、今後は、これらの美容商品販売事業を一つの核として展開していくことも可能と考えております。当社は平成 26 年 8 月 22 日付「ライセンス・オファリング（ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て）に関するお知らせ」で公表しました通り、本年 10 月にライセンス・オファリングによる資金調達を実施いたします。本施策による資金調達の成功により、今後の新規出店等がおこなえる強力な資金体制が達成された場合には、当社グループの業績が飛躍的に向上する可能性があり、かかる将来の展望や中期的な事業計画につきましては、現在綿密に検証しているところであります。

（業績予想に関する留意事項）

本資料における予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

なお、業績予想数値の修正資料における 1 株当たり当期純利益の数値についてはライセンス・オファリングによる発行済株式総数の増加による希薄化の影響は考慮しておりません。

以上